

社会保障領域のインフルエンサーを目指す医療法人東西会グループ

連載

123 在宅医療奮闘記

平成7年より在宅を開始した私の思い出

(医)東西会 千舟町クリニック院長
橋本 満義 (68歳・内科)

あっちゃん(4歳)の夏祭り～風鈴
～長寿の秘訣は、三世代家族や友人とのハッピーな絆～



2018年の夏は「西日本豪雨」の爪痕がまだまだ残っている時期での、有料老人ホーム「夏祭りイベント」となりました。

黙祷を捧げた後、例年通り日本の歴史と伝統文化にのっとった満壽山頭神社の神事となり、続いて「わんぱく夏祭り」の始まりです。施設会場には夏の風物詩である風鈴の音色が心地よく鳴り渡ります。

今回も私のデザインプロデュースによるプログラムでの催しです。

私事ではありますが、初孫のあっちゃん(4歳)が成長とともに知識として得てきたテレビ番組「おかあさんといっしょ」「アンパンマン」「新幹線変形ロボ シンカリオン」「ピタゴラスイッチ」などの画像を

大型ビジョンに映し出します。やがて「しまじろうクラブ」のテーマソングが流れると、会場にいた幼児たちがいっせいに反応します。みんな大型ビジョンに釘付けになり全身を動かして楽しく踊り始めるのです。その光景を見ていると私の全身に何とも言えない幸福感が満ち溢れてくるのです。それは、良き波動の同調作用とでもいったようなものでしょうか。

今回の夏祭りも約1000人以上の方々に来場していただき、大盛況のうちに幕を閉じました。職員やイベント協力スタッフ個人個人にとっても、充実した楽しい時間であったようです。…あくまで、本業のスキルアップを期待してのイベントではあるのですが。

私たちの日常業務は、高齢者在宅介護医療です。その目指すところは、人々が後半の人生を幸せで魅力的な生活空間で満たされるようサポートすることです。

また、長寿であり続けられる第一のキーワードが「老若男女の絆」だとされています。その実現に向けて私たちは「社会保障領域のインフルエンサー」でありたいと思っています。

夏祭りの後の私は、自宅で風鈴の音色を耳にし、そのたたずまいを見るにつけ、あの幸福感に満たされた光景がはつきりと頭に浮かんで来て、甘酸っぱくてとても心地の良い思い出に浸ってしまうのです。

～安全・安心・健康塾～

〈ボランティア活動〉

人の命は、呼吸停止、心停止後5分間で死に至ります。(5分間ルール)現場の人達を救命救急士として教育する「安全・安心・健康塾」出張講義に、期待が集まります。



外来診療(かかりつけ医) 総合内科・漢方診療科

要予約

お医者さんが来てくれる 24時間・365日体制で対応 (松山市全域)

私たちは、質の高い在宅医療・看護・介護を目指しています。

医師数 16名

内科・外科専門医 13名
(国立がんセンター勤務歴有3名)
精神科専門医 1名
麻酔科専門医 2名
(ペインクリニック科)

末期がん治療(緩和ケア)相談室開設!



国立愛媛大学附属病院臨床研究協力機関
大阪医科大学(研修医・医学生)在宅医療研修・研究協力機関
関西医科大学との在宅医療研修・研究協力機関

機能強化型・有床 在宅療養支援診療所
(医)東西会 千舟町クリニック
松山市千舟町6-4-9
Tel:089-933-3788
http://www.touzaikai.jp/